

各県だより

このコーナーでは、各都道府県組合から寄せられた、全国の組合、ホール等による各種の社会貢献・寄付活動を毎月紹介しています。

各都道府県組合による社会貢献活動

イベントの開催

大分

消防・防災訓練を実施

大分県遊技業協同組合は2025年3月6日(木)、別府市内の「Dee4」において別府市消防本部の指導のもと、防火訓練を実施した。

同組合では、平成13年に大分市内のパチンコホールで放火事案が発生し、店長が焼死するという痛ましい火災を経験。以後、同種事案の再発防止と風化させないため消防署等の指導を受けながら、消防・防災訓練を継続実施している。

第18回目となった訓練では、岩田理事長のほか県下各地区の遊技業関係者ら約100名が参加。消防署関係者の指導を受けながら、火災発見・通報訓練から火災報知器作動に伴う行動

確認訓練、消火器作

動訓練、店

内放送訓練、救命措

置訓練などを行った。



京都

青年部会が献血活動

京都府遊技業協同組合(白川鐘一理事長)の青年部会(木下大佑部会長)は、2025年3月12日

(水)、同組合が推し進める社会貢献事業の一環として、献血活動を実施した。平成26年に組合創立50周年を記念して寄贈した小型献血バス「球都号」による献血活動に協力するもので、今年で8回目。

当日は、京都市下京区の四条大宮ロータリーで青年部会員がス

タッフジャ

ンパーを着

用し、付近

を通行する

一般市民ら

にティッシュ

ペーパーを

配付。献血の

協力を呼び

かけ、62名が

協力した。



奈良

令和7年度経営者・店長(管理者)研修会を開催

奈良県遊技業協同組合(渡辺博治理事長)は2025年4月9日

(水)、天理市内で令和7年度経営者・店長(管理者)研修会を開催し

た。研修会には渡辺理事長以下各役員のほか経営者、店長(管理者)等56名が参加した。研修会では、県の福祉保



険部医療政策局疾病対策課精神保健係の松岡宏司係長が県のギャブル等依存症対策推進計画について講演を行ったほか、全日遊連の阿部恭久理事長が業界におけるのめり込み対策について講演を行っ

寄付／寄贈

青森

母子寡婦福祉連合会に災害備蓄食料品を寄贈

青森県遊技業協同組合(若林浩司理事長)は2025年3月24日

(月)、青森市内の県民福祉プラザで青森県母子寡婦福祉連合会に

対し、ビスケットやクラッカー、乾パンといった災害備蓄食料品を寄贈した。

寄付／寄贈

埼玉

同組合では、東日本大震災の翌2012年に、太平洋沿岸に位置する青森県階上町と災害支援協定を締結。大津波等の大規模災害が発生した場合に備え、同町に所在する組合員ホールの敷地に防災倉庫を設置し、防災用品や食料品等を備蓄している。備蓄品は、必要な都度、新しい物品と交換しているが、ビスケット、クラッカー、乾パンについては、賞味期限1年余りを残して、新たな備蓄食料品と交換することにした。



この賞味期限が残っているビスケット、クラッカー、乾パンの寄贈先について、県内のひとり親家庭等を支援している母子寡婦福祉連合会に希望を打診したところ、「是非、いた

埼玉

日本赤十字社埼玉県支部に訓練用の人形とAEDを寄贈

埼玉県遊技業協同組合(趙顕洙理事長)は2025年3月27日(木)、日本赤十字社埼玉県支部に對して訓練用の人形及びAEDを寄贈した。同組合が主催し、ヤクルト等の協賛による社会福祉協力キャンペーンにおける収益を原資としたもので、寄贈したAEDなどは、日本赤十字社が行う大規模災害発生時の被災地で救護活動や、同埼玉県支部が行う県民に向けた救命処置を学ぶ講習会や防災セミナー等で使用される。

日本赤十字社埼玉県支部で行われた寄贈品受領式では、埼玉県遊協の趙理事長が、身近な地域の防犯や防災に拠点となるべく、県や県警と防犯のまちづくり協定を締結し、災害支援協定の締結を進め、生活インフラの一端を担いたいと考えた社会貢献活動を推進している。



貢献はもとより、広く社会貢献に邁進していきたいと挨拶。救急法訓練人形6体、

幼児安全法訓練人形5体、訓練用AED6台を受け取った日本赤十字社埼玉県支部の森尾博之事務局長は、「講習の実施に欠かすことのできない資器材をご支援いただいたことは、大変貴重なことであり、感謝いたします。こうした思いやお気持ち力をにじて、これからも赤十字では、多くの方々に適切な応急処置の知識と技術をお伝えできるように頑張っていきたい」と謝辞を述べた。



大分 児童養護施設の児童に靴をプレゼント

大分県遊技業協同組合の青年部(有田昌一郎)部長は2025年4月2



日(水)、由布市内の児童養護施設に對し、児童が履く靴を寄贈した。青年部が主催する「第20回チャリティゴルフコンペ」の参加費と募金を利用して行ったもので、寄贈した靴は事前に児童が選んだ。



愛媛 県交通安全協会に「道路横断旗」を寄贈

愛媛県遊技業協同組合(佐々木彰太郎理事長)は2025年4月10日(木)、愛媛県警察本部で県の交通安全協会に「道路横断旗」1000本を寄贈した。春の全国交通安全運動に合わせて平成21年から横断旗の寄贈を行っているもので、今回で17回目。

贈呈式では、県警交通部長らが立会のもと、佐々木理事長が「交通事故防止の一助になれば」と県交通安全協会の加藤専務理事に目録を手渡し、加藤専務理事からは「横断歩道で事故が発生するなど厳しい状況が続いており、活用させていただきます」と感謝の言葉が

山梨 県の社会福祉協議会に食料品等を贈呈

山梨県遊技業協同組合(星野謙理事長)は2025年4月23日、山梨県福祉プラザにおいて山梨県社会福祉協議会に食料品等の贈呈を行った。物価高騰による生活困窮者支援として、県内の組合員ホールの協力を得て寄託したもので、社会福祉協議会では希望があつた県内の甲斐市、中市、中



央市、市川三郷町の社会福祉協議会に振り分ける。贈呈式では、星野理事長から「組合員から集めたレトルト食品、ティッシュペーパーなど生活困窮者に役立てていただければ幸い」と挨拶。目録を受け取った各社会福祉協議会の代表者からは「生活困

述べられた。

窮者のために役立てます」と感謝の言葉が述べられた。

福島

児童養護施設に 児童図書等を寄贈

福島県遊技業協同組合連合会（諸田英模理事長）は2025年4月23日（水）、県内8所の児童養護施設に対して児童図書等を寄贈した。同県遊連では毎年、福島県内の児童養護施設に「福島県遊連図書」として、学びを必要としている子どもたちに絵本・図鑑等の児童書を贈呈しており、今回で8回目。今回は3月に開催した県のパチンコ・パチスロファン感謝デーの収益の一部を充て、児童養護施設に約400冊の児童図書とカップ麺32箱を贈った。

福島市内の児童養護施設愛育園で行った贈呈式では、穴澤一浩専務理事が「本を読む楽しさや大切さを感じてほしい」と挨拶し、愛育園園長に70冊の図書を手渡した。



山形

児童養護施設に 本と防犯用の笛を寄贈

山形県遊技業協同組合（井上静夫理事長）は2025年4月25日（金）、2024YAMAGATAパチンコ・パチスロファン感謝デーの社会貢献活動として、株式会社そごう・西武、BOOK OFFの協力で行った。児童養護施設山形学園において行われた贈呈式では、児童図書60冊のほか防犯・防災時への支援として防犯ホイッスル50個を合わせて寄贈した。



同組合による児童図書の贈呈は今回で4回目。山形学園のほか、県内4つの児童養護施設にも児童図書60冊、防犯ホイッスル50個をそれぞれ寄贈した。

イベント協賛／参加

兵庫

オンラインカジノ啓発活動で 新聞広告

兵庫県遊技業協同組合（平山龍一理事長）は、2025年の3月と4月に兵庫県警察と同組合連名でオンラインカジノ啓発として新聞広告を掲載した。広告エリアは兵庫県全域で、3月26日と27日の神戸新聞朝刊、さらに4月1日・7日同紙夕刊に「日本国内ではオンラインカジノに接続して賭博を行うことは犯罪です！」と啓発したほか、同組合からは「兵庫県遊技業協同組合では、啓発活動に取り組んでいます。」とアピールした。



各支部組合／ホール企業 ／組合員ホールによる社会 貢献活動

顕彰／表彰／感謝状授与

埼玉

社会福祉協議会会長からの 感謝状

埼玉県遊技業協同組合の上尾遊技業組合は2025年5月11日（日）、長期にわたり浄財を寄贈し、地域社会福祉の向上に貢献したとして、桶川市社会福祉協議会会長から感謝状を授与された。当日開催された「2025おけがわ春のふれあいフェスタ」おけがわ春のふれあいフェスタ「フエスタ」の式典の中で、桶川市社会福祉協議会会長から直接、上尾遊技業組合長に感謝状が伝達された。



寄付／寄贈

埼玉

特殊詐欺等被害防止活動を 支援

埼玉県遊技業協同組合の武南遊技場組合と同防犯協力会は2025年2月、武南警察署に特殊詐欺被害防止の啓発品と闇バイト注意喚起ポスターを寄贈した。

同署管内では高齢者



等の特殊詐欺被害が連続して発生していることから、被害防止キャンペーン等で活用する啓発品としてステッカー200枚と、闇バイトに対する注意喚起を促すポスター50枚を寄贈した。

大分

防犯PR用缶バッチ制作に賛助金

大分県遊技業協同組合傘下の大分東遊技業組合は2025年3月11日(火)、地域防犯活動のPRのため、大分東警察署の職員制作案による防犯PR用缶バッチを地区の防犯協会連合会が主体となつて制作することに賛同し、協会に対して賛助金として寄付を行った。

埼玉

子ども食堂への支援(助成)

埼玉県遊技業協同組合と同遊技業防犯協力会傘下の「アリーナ桶川店」と「オータ桶川駅前店」が2025年3月12日(水)、桶川市



内で「子ども食堂」を運営する桶川市社会福祉協議会に活動物品を寄贈した。

当日は事務局が両店から預かったお菓子を社会福祉協議会の常務理事に寄贈。常務理事からは、お礼の言葉と共に同協議会会長名のお礼状が手渡された。

埼玉

子ども食堂を支援

埼玉県遊技業協同組合の上尾遊技業組合と同防犯協力会の傘下ホール「アリーナ平塚店」は2025年3月28日(金)、上尾市内で「子ども食堂」を運営する2つの民間ボランティア団体に活動物品を寄贈した。

当日は、アリーナ平塚店のスタッ

埼玉

子ども食堂を支援

埼玉県遊技業協同組合の上尾遊技業組合と同防犯協力会の傘下ホール「アリーナ平塚店」は2025年5月6日(火)、上尾市内で「子ども食堂」を運営する民間ボランティア団体に活動物品を寄贈した。



フが子ども食堂」とまと」と「でんでん虫」の代表にそれぞれお菓子1箱を寄贈。両団体の代表からは「いつも、沢山のご支援をいただきありがとうございます。とのお礼の言葉が述べられた。寄贈されたお菓子は、春休みに子ども達に配られる。

埼玉

交通遺児の健全な育成活動に協賛

埼玉県遊技業協同組合傘下の大宮西遊技業組合は2025年5月30日(金)、交通遺児の健全な育成活動に協賛し、新聞紙上に遊技業組合の広告を掲載することにより「交通遺児に愛と希望の灯を」子供たちの心に太陽を」基金への寄付活動を行った。産経新聞埼玉県版に掲載したもので、協賛金は公益信託埼玉県交通安全対策協議会交通遺児援護基金へ寄付され、交通遺児等の健全な育成に活用される。



当日は、アリーナ平塚店のスタッフが子ども食堂」とまと」の代表にお菓子3箱を寄贈。代表からは「いつも、沢山のご支援をいただきありがとうございます。とのお礼の言葉が述べられた。寄贈されたお菓子は、「子どもの日」のイベントで活用される。